

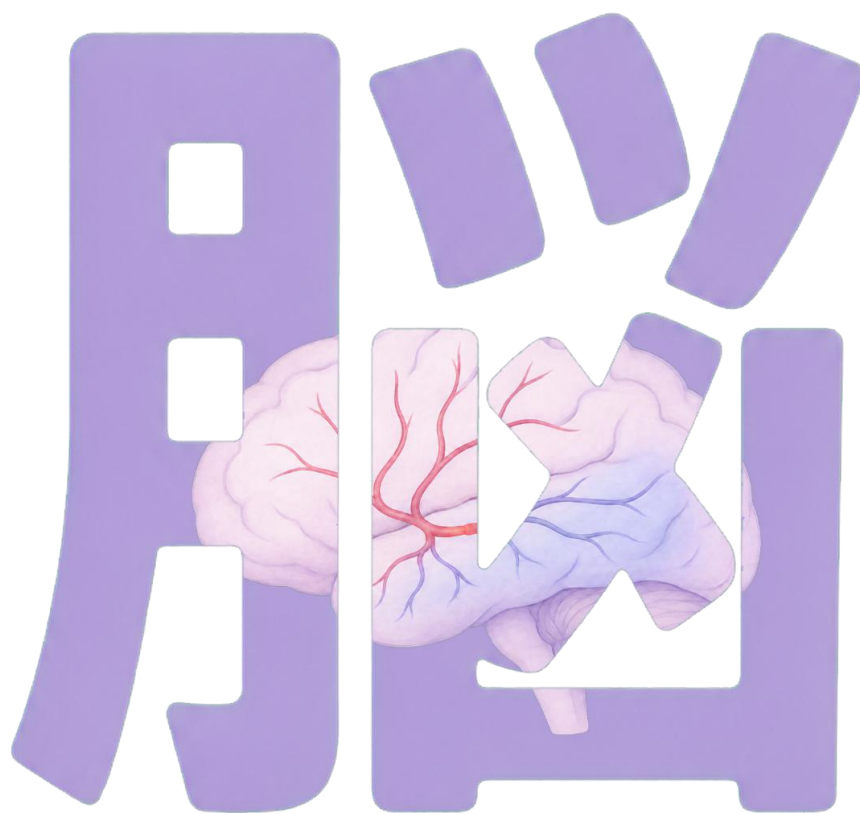
岡山旭東病院 広報誌

愛

2026.9

vol.100

知っておきたい
脳卒中のサイン
～前兆から初期症状まで～



[発行]公益財団法人操風会 岡山旭東病院 広報委員会

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田567-1

Tel. 086-276-3231 Fax. 086-274-1028

外来診察予定表・イベントは
ホームページをご参照ください。



掲載イラストは一部生成AIを活用し、当院広報委員が企画・編集しています

「知っておきたい脳卒中のサイン ～前兆から初期症状まで～」

日本人の死因の上位にある脳卒中。誰にでも起こる可能性があり、発作は多くの場合、前触れもなく突然起こります。これまで元気に過ごしていた方が、ある日突然発症することも少なくありません。

症状や対処を知り、いざという時にすぐ行動することが、その後の生命や後遺症に大きく影響します。ご家族やご自身に症状が現れたとき、すぐに気づいて医療機関にかかれるように、代表的な初期症状を知っておきましょう。

10月24日（土）に開催する県民公開講座では「脳卒中について」詳しくお話しします。また、栄養相談などのブースを出展予定です。ぜひご参加ください（詳細は裏面）。

脳卒中の分類

脳の血管が破れて
出血が起こる

出血性脳卒中
脳内出血・クモ膜下出血

脳の血管が詰まる

虚血性脳卒中
脳梗塞



毎朝、脳卒中治療をおこなう医師・看護師・リハビリスタッフが集まり、入院患者の治療方針を検討しています。

早期発見が大切

脳卒中が起こると「意識障害」「言語障害」「半身麻痺」などの症状があらわれます。これらは血管が詰まったり破れたりすることで血流が滞り、脳細胞に酸素や栄養が届かなくなるために起こります。



この症状を数時間以上放置すると、脳細胞が壊死し始める可能性が高く、後遺症が重くなることや、命に関わることがあります。また、脳細胞は少しずつダメージを受け続けるため、時間がたつほど壊死する範囲は広がっていきます。

発症直後

血流が
滞り始める



数時間後

脳細胞が
壊死し始める



さらに放置

広範囲が壊死し、
後遺症が重くなる



正常な脳には、約220億個の脳細胞が備わっています。
発症後は1分間に約190万個の細胞が壊死するとされています。

わずかな時間差が人生を変える

脳の細胞は一度壊死すると元には戻りません。そのため、**なるべく早く治療を受ける**ことが大切です。

実際、発症後4.5時間以内に治療を開始することで、症状の回復が望める可能性があることが分かっています。「様子をみよう」とためらわず、すぐ受診することが何より重要です。

どんな異変が起こる？主な症状

よく見られる症状として以下があげられます。これらの症状は、1つだけのことも複数のこともあります。症状が1つでも見られたら、早急に医療機関を受診しましょう。

- 意識がなくなる
- 突然手足が動かなくなる
- 言葉が話せなくなる
- 視野障害（片目が見えない、視野が半分欠けるなど）
- バランスが保てず歩行できない
- 経験したことのないような激しい頭痛 など

覚えておきたい「FAST」

FAST（ファスト）とは、脳卒中を早期発見するための合言葉として使われています。脳卒中を疑うことがあれば、**FAST**という言葉の思い出してみましょう。

初期症状（F・A・S）と発症時刻（T）を確認！
Fast（速やかに）医療機関にいきましょう



Face: 顔の麻痺・ゆがみ

顔の片方が下がる
ゆがんで上手に笑顔が作れない



Arm: 腕の麻痺

片腕に力が入らず、両腕を胸の高さに上げたままキープできない



Speech: 言葉の障害

言葉が出てこない・ろれつが回らない・会話を理解できない



Time: 発症時刻

症状に気づいた時刻を記録し、早めに医療機関を受診する



脳卒中の兆候「TIA」

脳の血管が詰まる前段階として「一過性脳虚血発作(TIA: Transient Ischemic Attack)」と呼ばれる発作があります。脳卒中の症状が一時的に現れますが、数分から1時間程度で消えるため、**脳卒中の前触れ発作**とされています。

TIA発症後の脳梗塞発症割合

2日以内	約5～10%
3か月以内	約10～20%

ほかにも、以下の症状がみられる場合、脳卒中の疑いがあります。本人では気がつかない初期症状を周囲が見逃さないことも大切です。

- 持続する「吐き気やめまい」
- 急に話さなくなる
- ぼんやりする など



脳卒中認定看護師より

私は脳卒中発症後の患者さんを多く見てきました。脳卒中の後遺症はさまざまであり、重篤な場合には意識障害が出現し寝たきりとなったり、今まで普通にできていた生活が一変してしまった方達もいます。また高次脳機能障害といった後遺症によって復職することが困難となった方もおられました。入院された時「もっと早くに受診しておけば」「忙しくて病院に受診できてなかった」など、健診で指摘を受けていても、多忙から受診されていなかったり、内服を自己中断された方もおられます。

脳卒中は突然発症しますが、何らかの要因があって起こります。無症状ではあっても、身体の中では少しずつ異変を起こしはじめています。入院前から注意しておくことで防げる事はたくさんあります。人生を豊かに生活するためにも、自分の身体を大切にしたいと思っています。

新しく赴任した医師の紹介

内科



あらき ひろゆき
荒木 宏之

6月から赴任しました。お腹のことなどでお困りの事があれば気軽にご相談ください。これまでは、主に外科で診察をしておりました。

救急科



ほりうち いくお
堀内 郁雄

7月から赴任しました。患者さんやそのご家族に寄り添う気持ちを忘れずに、より良い医療を実践していきたいと思います。よろしくお願いします。

10月6日(火)からCT装置が新しくなります

新しい装置には人工知能（AI）による自動化技術が搭載されており、これまでよりも低い放射線量で、より鮮明な画像を撮影できるようになります。これにより、これまで見つけること

が難しかった初期の小さな病変がとらえやすくなります。あわせて、検査にかかる時間も短くなり、患者さんの体への負担が少なくなります。

導入工事期間

2026年9月19日(土)～10月5日(月)

CT装置を導入するため、工事にともなう作業音が聞こえる場合があります。また、装置を建物内に運び入れる日は、安全のため一部の通路が通れません。ご理解とご協力をお願いします。



Revolution Vibe

岡山県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業県民公開講座

「もしもの前に知っておきたい！脳卒中・骨折の正しい備え」

日時

2026年10月24日（土）14:00～16:00

13:00～14:00 特設ブース展示（栄養相談・試食、介護保険相談、口腔ケア紹介）

会場

岡山県医師会館 三木記念ホール
〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町19番2号

参加

無料・事前申込不要・どなたでもお気軽にご参加ください

講演 内容

- 骨折の早期診療と二次性骨折予防
- 脳卒中は予防と初動が大事～今日からできる対策ともしもの時に～
- リハビリテーションって何をするの？～その人らしい生活を取り戻すために～
- 総合診療医の視点から日常生活でできること
- いざという時に慌てない！救急の備え

詳細は
こちら

